

# 岩見沢駐屯地創立 第12施設群創隊 記念行事挙行

いわみざわ



隊地会 3  
 村社 上 354  
 立町 最上  
 道 354  
 北見市 0126  
 空知郡 45-2721  
 陸軍 駐屯地  
 印刷所 北見市 0126

## 秋空の下で盛大に

九月二十二日、自衛隊協力会岩見沢地区連合会、隊友会岩見沢支部共催のもと、岩見沢駐屯地創立三十八周年・第十二施設群創隊十六周年記念行事を実施した。

行事関係者を悩ませた悪天候も、嘘のように爽やかに晴れたり国会議員、空支隊長をはじめ三百五十名におよぶ来賓参加のもと、一般公開で入場された周辺市民約二千三百人の見守るなか、厳粛に式典を開始した。

鈴木駐屯地司令の式辞に続き来賓のお祝いの言葉、祝電披露、来賓紹介、最後に第十二施設群、予備自衛官、隊友会の車両による堂々のパレードで威容をしめした。

午後からは祝賀会食を行い、日頃ご協力を頂いている皆様との意見交換を和気あいあい



駐屯地司令の式辞、車両によるパレード

## 訓練検閲出陣式

十月十四日訓練検閲に先立ち駐屯地営庭において業務諸隊全員の倍列を得て隊員の士気を鼓舞し、団結を図るとともに優秀な成果を期すため、出陣式を実施した。

出陣式では、駐屯地女性職員三名から、群長、長駆陸曹



花束を受ける群長、陸曹・陸士会長

## 状況 受納

会長、永富陸士会長に激励の花束が手渡され、引続き残留部隊を代表して駐屯地業務隊総務科長から「群の名譽をかけて立派な仕事をしてくれて下さい」と激励を受けた。

また、演習参加者を代表して三三五施設中隊伊藤三曹が関の声をあげ、士気を鼓舞した。

さらに、激励品の紅白饅頭が隊員一人一人に配られ、長期間の訓練検閲に対する全員



しがらを組む隊員



総動員の建設機械作業



志方総監に説明する群長



# 隊友会石見沢支部

## 平成三年度全道研修会

平成三年八月二十四日、二十五日の二日間、東千歳駐屯地で全道研修会が開催され岡田支部長、長崎副支部長、戸出理事の三名が参加しました。

二四日は午後からの開会の後、感謝状贈呈、表彰が行われその後「航空自衛隊の現状について」と題して第二航空閉司令武田将補から講話が一時にわたり行われました。

一五時から約二時間におたり研修討議「即日入会率向上のため、現職部隊との連携の元、我が支部連（支部）が実施している（本年取り組もうとしている）具体的施策」について各支部連代表による発表質疑がありました。

発表された中で特に多かったのは「駐屯地への訪問を頻繁に実施し定年退職者任期満了退職者の発生の都度積極的

に隊友会への入会の勧誘」「隊友会の魅力化の重要性」

「あらゆる行事に努めて出席するように心掛けること」及び「現職隊員に対し隊友会のPRを実施して認識を高めること」の四点でした。二十五日朝古川道給連合会長が総括して、この隊友会は親睦和を目的とした片意地を張らない会にしたいものである。だから楽しく、明るく、健康でみんなが喜んで集まる会にしたいものである。

また部隊での隊友会の認識不足については、今後現職の皆さんにもお願いしPRにも努めたいと話された。

二四日の夜は、千歳市内ピートル一〇一において懇親会があり志方方面総監をはじめ千歳市長など沢山の来賓を迎えて盛大な懇親の場となりました。



志方総監を囲んで

### 駐屯地記念式典に出席して

長崎 記

前日から当日の朝迄降り続いた雨も上がって、秋空のもと九月二十二日十時から、駐屯地創立三十八周年第十二施設群創隊十六周年の記念式典が隊友会も協賛して行われました。

鈴木通彦駐屯地司令の挨拶から始まり、渡辺衆議院議員、各政財界からのお祝辞を戴き式典もスムーズに進行して、式典の花形である観閲行進が始まった。我が隊友会は、ぶ



観閲台上の岡田会長（写真右）

をしました。ミサイル、対空機関砲バルカン砲、ベトリオット、F-15戦闘機などを見学、最新の装備を整えている航空自衛隊の装備には、陸上自衛隊と格段の差を感じるものがありました。来年の全道研修会は旭川支部連が担当することになっております。

長崎記録

つづけ本番である。うまく行くかどうか祈る気持ちで見守るうちに行進してきた。指揮官細川金治理事、旗手田中久理事を先頭に四十一名の会員がジープに分乗して堂々の行進である。関係者はもちろん、一日であった。



堂々の車両行進



今度こそストライク?



北部方面隊歌の合唱

## 十人十色

次の「つもりちがい十箇条」を見て思い当たる事がないかをよく考えてみてはどうか。人には、それぞれ個性があります。自分の胸に手を当ててみることも必要かと思えます。「つもりちがい十箇条」をお互いに心して行動したならば、きっと職場でも良い環境ができるのではないのでしょうか。

### つもりちがい十箇条

- 一 高いつもりで低いのは教養
- 二 低いつもりで高いのは気位
- 三 深いつもりで浅いのは知識
- 四 浅いつもりで深いのは欲の皮
- 五 厚いつもりで薄いのは人情
- 六 薄いつもりで厚いのは面の皮
- 七 強いつもりで弱いのは根性
- 八 弱いつもりで強いのは我
- 九 多いつもりで少ないのは分別
- 十 少ないつもりで多いのは無駄

## ボーリング大会（四十五名が参加）

平成三年十一月十日予定通 優勝に池田四科長、三位にり午後三時からトウホーボーリング大会も盛んに行われました。最近ボーリングも盛んになりつつあり、若い人達にぎわっているが、隊友会の皆さんは定年を迎えてからそれぞ結果は、優勝に山村氏、準

最後に広田氏の首頭で「北部方面隊歌」を肩を組んで合唱し、また、次の会合をお互いに誓い合いました。長崎 記

この後、山海塾で懇親会を開催した。支部長の挨拶の後、司令からの挨拶があり、「部隊としても今後隊友会の皆さんのあらゆる行事の参加させてもらい、また、部隊の行事にも来てもらい共に開かれたものにして行きたいのでよろしく」とのこと。

一年に一、二回合う人が多くするために飲めば飲むほどに暮る話に花が咲きあつという間に二時間の制限時間が過ぎてしまっていた。



# 予備自衛官招集訓練

岩見沢駐屯地では、九月二十日から二十四日までの五日間、岩見沢駐屯地で初の予備自衛官招集訓練を実施した。今回の招集訓練の特色は、退官時の職種に関係なく各自の希望で岩見沢を選んだ人々による各職種連合の訓練となったことだ。

このため、招集訓練参加者は、岩見沢駐屯地周辺のみならず登別市、室蘭市、倶知安町等を含む十五の地域から、職種も普通科、特科、機甲科、武器科、衛生科等様々でありました。

二十日、十時から実施した編成完結式では高橋予備三尉が代表して鈴木群長に申告。群長から予備自衛官旗の授与訓示があり岩見沢駐屯地に初の予備自衛官部隊が誕生しました。

引続き実施した基本教練、射撃予習では、小銃を懐かしそうに握りしめ訓練に助んでいた姿は現職に復帰したように差洩れしていました。

二日目には、群長から最近の社会情勢・北部方面隊が轄として実施しているビッグレ

## 予備自衛官訓練を担当して

私は今回、予備自衛官招集訓練の要員（助教）を務めさせて頂きました。

新隊員等の教育訓練については実施してはいたしましたが、駐屯地としても今年から初めて行うこととなり事前準備の為、地方連絡部募集事務所や師団内の連隊等より情報収集を実施し、受け入れ態勢をととのえました。さらに訓練期間中、駐屯地の記念日もか

スキュー及び訓練評価支援センター等の諸施設について紹介説明した。

この教育には全員が現職以上に目を輝かせてVTRに注目していた。

引続き孫別演習場においてオリエンテーリング方式を取り入れた地図判読等の野外訓練、課外には隊員クラブで群長を囲み現・元自衛官の懇親会を実施し四方山話を花を咲かせた。

三日目には、岩見沢駐屯地創立記念行事に車両部隊として参加しパレードに花を添えた。



射撃訓練中の予備自衛官

## 本部管理 中谷 護

さなり我駐屯地の卒業生の方々にっては思い出に残る日々でした。

私自身訓練に参加し、予備自衛官の方々の雑談の中で感じた事は、海外で起きた湾岸戦争の時聞会で議論された自衛隊の派遣問題等、自衛隊に対する信頼感をもっとよくするためにはどうしたらよいか、現在ももっとも深刻な事は民間企業でも部隊においても

午後、駐屯地内のみし池で漕舟訓練。普特機等施設科以外の隊員は初めての櫓の操作に手こずっていた。

四日目は、方面航空隊とのヘリボン協同訓練、その後新十津川射場で検定射撃を実施し、五日目は、体力検定、札幌地方連絡部副部長との懇談を実施した。

二十四日午後、五日間の訓練日程を無事終了し、森永予備三尉が代表して訓練終了にともなう申告及び予備自衛官旗の返還を実施し「来年も岩見沢で合いますよう」を合言葉に教官助教が見送る中、駐屯地を後にした。

## 訓練検閲に参加して



第335施設中隊 一等陸士 増原 祥貴

私は、十月一日から四日まで行われた訓練検閲に参加しました。

検閲は、演習場の戦車道に暗渠を設置するというもので自分はレベルを覗いて暗渠の勾配を出し、掘削量や埋め戻し量を計算しました。

一日目は、移動に引続き不眠不休の行動で、翌日の作業中は下半身のたるさと眠さで思うように体が動かさず辛かったです。



訓練群長を囲んで記念撮影



第312施設器材中隊 陸士長 河原 康史

私が陸曹教育隊に行くまえ、中隊の皆さんには「おまえが陸曹に行くことでも苦労するぞ」と何度も言い聞かされてきました。何か一番大変なのですか？と聞くと「時間に追われる事と体力面で苦労する」と言われました。

私はたとえ苦労してもこれから陸曹としてやって行くのには、必要な事なので自分に負けないよう努力しようと思に誓いました。

いよいよ陸曹に入校となり、これから三ヶ月間ここで勉強すると思いと不安な気持ち一杯でしたが、ここまで来て引き返すわけにはいかずやるしかありませんでした。

聞かされた通り、入校中の三ヶ月は時間に追われ、体力

## 陸曹を終えて

の面にもとてきついな日でした。駆け足にしても今迄だと疲れたと思うとすぐ手をぬき自分に妥協してしまいました。教育隊では妥協は許されませんでした。これが教育隊であり陸曹としてやって行くのに大切なことだと思っていました。

これから、中隊で戦技や訓練をやるにしても自分が持っている最大の体力及び技能を十分に発揮して行きたいと思っています。

今迄の陸士の考えは捨てて、これから陸曹としての自覚と誇りを持ち、中隊で誰からも信頼される宮内班長として、また、自衛官として努力して行きたいと思っています。

したが、こんな訓練は初めてでしたが、こんな訓練は初めて主人に聞いたところ過去に規模の小さいものはしたことがあるが、このような大規模な訓練は初めてのことでした。

この中で私が特に感じたことは、自衛隊のあらゆるハイテク機器が見事なまで活用され、更に隊員一人一人が身を挺して救急する姿に、主人の姿がオーバードラップし今日ほど職業に誇りを感じたことはありませんでした。

このように感じたのは私一人ではないでしょう。きっと他の隊員の奥様も同じだったと思います。

これからも私は自衛官の妻として、主人の職業を理解して内助の功を発揮できるように努力したいと思っています。

## ビッグレスキュー訓練を見学して

八月二十七日、私は主人と一緒に、災害に対処するために訓練見学に島松という所に

向かいました。今まで二度程主人の部隊での訓練は見学はさせて戴きま



第335施設中隊 長野2曹婦人 慶子さん



# 地域の活性化を盛り上げる

九月十四日から十六日の三日間、岩見沢専門店会・同商工会議所主催で行われた百餅祭では、餅つきや御輿担ぎ等を第三三七施設中隊が主力になって支援を行い、また、八月二十四・二十五日には、北村主権北村カッペフェスタ

## 百餅祭りに参加して



第337施設中隊  
1等陸士 三好 博之

世界一の餅つき、百餅祭りも今年で九回目を迎えました。さて、皆さんは、祭りと言えは何を連想されるでしょうか。やはり、第一に御輿ではないでしょうか。そう考えている人は多いと思いますが御輿の楽しさを知っている人は少ないと思います。今年、自衛官と民間の人

## 食べ物あれこれ



駐屯地業務隊  
3等陸曹 佐藤 浩

「おかず無いと卵を割って、飲ます女房の下心」と言う都々逸があります。昔の人は、経験によって鶏卵に「強精効果」の有るのを知っていました。



々と一体になって、はしやぎ、そして笑い、力一杯担ぎました。とても楽しく、面白かったのですが疲れ果ててしまいました。でも、そのおかげで御輿の楽しさがわかったような気がします。

御輿を担いだ事のない人はなかなかわからないと思いますが、私は又来年機会があれば参加したいと思っています。皆さんも機会があれば、是非一度御輿を担いでみては如何でしょうか。きっと、御輿の楽しさがわかると思います。

その鶏卵を用いたスタミナ



北村カッペ祭りイカダを作る隊員

## 行事支援 スナッフ写真



餅つきの網を持つ群衆

を続ける保温強精に効き目があります。他に「黒胡麻」はすりつぶして蜂蜜に混ぜると一層有効です。先ほどの胃が弱い方には「バナナ」をお奨めします。特に、アルカリ性に優れているので、胃の痛む時など、それを和らげる効果が有ります。更に、便秘を防ぐ効果も有ります。



網ひき大会に参加する隊員



北村で御輿を担ぐ隊員

## 秋の味覚を 楽しむ会を実施

曹友会会長  
長堀 信光

平成三年九月二十九日、駐屯地陸曹会は、駐屯地司令、業務隊長、隊員及び隊員家族の皆様、近隣市民約八十名の参加を得、孫別演習場内において恒例の茸狩りを実施した。当日の朝は、台風二十号のあおりで開催が危ぶまれましたが、会員の願いが天に通じたのか一転して秋晴れ。絶好

## 北村カッペ祭りに参加して



第312施設器材中隊  
3等陸曹 戸塚 俊次

私は、八月二十四日に行われた五穀豊稔、水に強い北村、水に打ち勝つ北村を祈願とする「北村カッペフェスタバル」の行事支援に参加しました。

イベント部門は、北村の次世代を担う「原人若葉青年団」が地域連帯感の育成と地域おこしを目的としてイベントを計画し運営している熱気溢れる姿を見て一瞬私も北村の村民になっているような気がしました。私たちは自衛官であるとともに岩見沢市民の一人であることを再認識しました。



袋一杯の茸と記念写真

の茸狩り日和となった。前段は、駐屯地山菜部の案内でそれぞれの組に別れ、思いの場所まで採取した。今年は例年になく雨の多かつたせいか、思ったより収穫があり、参加者は袋一杯になるほどの茸をとり、満足した様子であった。

最後に、この会を催すにあたって影ながら御指導・御助言戴いた駐屯地司令、業務隊長、各中隊長に厚くお礼申し上げます。今後陸曹会が益々発展できますよう会員の皆様の高一層の御協力、御支援を切にお願い致します。



きのこ汁とジンギスカンで会食

**千葉電気工事株式会社**  
代表取締役 千葉 嘉男  
岩見沢市東山町2番地71  
電話 (0126) 24-4567番

**株式会社 本堂建設工業**  
取締役社長 本堂 春夫  
本社 三笠市幾春別町4丁目  
電話 (01267) 76-8288 FAX (01267) 6-8430  
札幌支店 札幌市白石区本通1丁目南1  
電話 (011) 861-1381 FAX (011) 865-5034  
石狩支店 石狩町花川南1条1丁目1  
電話 (0133) 73-3111 FAX (0133) 73-0757

**自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部**  
事務局：岩見沢市商工会議所内  
支部長：三谷 栄一  
TEL：0126-22-3445



# 私の人生経験



第327会計隊  
1等陸士 平澤 秀一  
札幌市珠算大会で上位入賞

学生時には誰もが有名な人になりたいとか、立派な家を建てて裕福に過ごしたいと夢を描いたことと思います。

ある年配の方から、儉約がうまく行かないと全てがだめになる、つまりお金は生活の源であると言うことを教えられたことがあります。

私は、平凡な家庭に育ちましたが、色々な状況から、そのころの家計は厳しく、そのため私は大学に行きませんでした。

高校を卒業して、会計事務所に就職しました。大学を出た人と机を並べ、一緒に実務



第342施設中隊  
2等陸士 小川 功

自分は、平成三年四月二日に入隊した、曹候補士の一期生です。入隊して間もない頃は、学生の気分がぬけずとまどったり、不安になったりして続けていけるのだろうかという思いでしたが、教官や班長の指導のもと射撃、戦闘訓練として検閲を無事終えるこ

## 自衛隊に入隊して

とができました。

そして自分の職種は、施設科と決まりました。希望した職種とはちがったので、自分にあっているかなど色々な不安がありました。訓練が進むにつれ、なかなかやりがいのある仕事だと思えるようになっていける自信もついたり、よりに思えます。今はもう教育期間も終わり、中隊に配属となりましたが教育中隊のこと、経験したことを生かして、陸曹候補士ということに自覚し、頑張っていこうと思っています。

その時、どんな仕事にも健康管理が重要だと言うことに気がきました。しかし、三年間民間会社に勤務し、私が得たものは沢山ありますが三点について紹介します。

一つ目は、自分の仕事の価値観をしっかりと頭にたたき込み、全力投球できたこと。

二つ目は、自分だけの事にとらわれないこと。

三つ目は、お金を有効に使うために知恵をしぼること。

私は、民間会社が猫の手を借りたい程忙しく厳しいことが良くわかり、その会社から去る事が申し訳がなく思い、二週間程無料奉仕しますと言った仕事を手伝わさせて頂きました。しかし、世の中は甘くありません。辞表はなかなか受け付けてもらえなく、精神

的に苦しみました。私の決意は固く、第二の人生に踏み切りました。

自衛隊に入隊し、体力づくりにして健康を維持しながら自分を大きく伸ばすことを目的としました。

自分の成功のためにだけ努力をするのではなく、仲間意識を持ちながら目標達成に向けて援助しあい、相手の立場になって考え、行動がこれればと思っております。自己に對する厳しさと自信をもって一歩一歩前進し、自分に与えられた職務を全うしたい。

この原動力は、周りの人々の支援によって与え下さっているものと、感謝の気持ちを忘れずに人生を送って行きたいと思っております。

# みんなの ひろば

## 中隊配属 になって



第337施設中隊  
2等陸士 藤原 誠

私は、中隊直風になる前の教育は、前期岩見沢駐屯地でしたので施設中隊の事は少し知っていました。それで、第一希望の三三七施設中隊に配属が決まった時はとてもうれ

## 21歳の青春



岩見沢駐屯地業務隊  
事務官 川上 敦

私は、平成三年三月二十五日付で防衛庁事務官として駐屯地業務隊(厚生科)に配属されました。

それ以前、学生だった私は、夜はアルバイトに明け暮れ、昼は学校で教科書を机に寝て

いるといった生活でしたので、厚生科に勤務し始めた頃、学生時代と全く逆の居働き、夜寝る正常な生活に急激に変わ

ったため、最初は苦しい思いで勤務していました。

そのため、何回か出勤時間間に遅れることもあったかな?です。それから、経理専門学校に通っていたのですが、勉強など殆どしていません。経理の事が全然判らないまま、防衛庁事務官に採用となり、

共済組合業務の貯金経理・防生協担当だったので、最初は「仕事は判らない!」その上自衛隊の事も判らない!で大変でしたが、皆さんに助けられてどうにか頑張ってきました。

岩見沢の街に住むのは初めてで、まだよく良さは判っていませんが、札幌にも近く住み易い所だと思っています。

おかげで、土・日曜日は岩見沢で過ごしたことはなく、なぜか毎週末になると札幌で二十一年青春させてもらっています。

未だ学生気分が抜けない私ですが、これからは仕事はもちろん、遊びに大いに頑張っていきたいと思っています。ので、宜しくお願ひ致します。

北海道四大美術展の一つである、第二十四回「北海道美術作家協会展」が十月一日から札幌市民ギャラリーで開かれました。岩見沢駐屯地第十二施設群の渡辺新一等陸曹が見事「工芸の部」奨励賞を受賞し、内外の話題となった。

渡辺一曹は本部管理中隊一科庶務陸曹としての業務の傍ら、駐屯地の中にある「一日の出入」に十年程前から通い、道美展会員の北野准尉(三代目黒元)から手ほどきを受けていたが最近めきめきと上達し、昨年、道美展工芸の部入選に引き続き入賞となったものである。受賞の知らせを受けて「これは、北野准尉のおかげであり今後も努力し協会員になりたい。」と話していました。

また、北部方面隊美術展にも連続して入賞しており、今年の特選をもらっている。なお、渡辺一曹は、次期黨元を目指して、現在修業中である。

私は、先輩達の姿を見て、自分もこれから同じような事をするので、先輩達に色々な事を教えてもらい、そして自分でも良く勉強していきたいと思っています。

**近江建設株式会社**  
 特定土木建設許可・一級建築士事務所  
 本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話23-3026  
 支社 三笠市唐松町1丁目374 電話2-3179  
 営業所 札幌市中央区南2条西5丁目  
 ロジエ札幌25-806号室 電話011-222-5359  
 営業所 三笠市幌内本沢町 電話2-5403

●年金と医療保険のバイオニア  
 ●生涯の保障に終身保険(明朗)  
 頭金制度により毎月安い  
 保険料で大きな安心  
**東邦生命**  
 担当 深沢 隆子 (内327)

時代を一步リードした  
 中庭のあるモデル住宅  
 柏崎建築設計事務所  
 建築調査 柏崎建設株式会社  
 代表取締役 **柏崎昭朗**  
 会社 岩見沢市11条西1丁目  
 電話(代)23-2129  
 見沢市東山町  
 木工場 電話24-1725番



第二十四回 北海道美術作家協会展受賞に想う

今年で五年目の道美展、毎年入選だけはして来たものの今年の奨励賞で一躍陶光を浴びることが出来ました。入賞の機会を得た事は、私の人生にとって意義深く喜びもまたひとしおのものがあります。

私と陶芸との出会いは、現在栗沢純憲先生の近藤尚先生が勤務されていた職場に私が勤務する事になり、先生は勤務の傍ら作陶に一生懸命な毎日でした。先生から私の出身地、有珠山から取って来たという、火山灰を釉薬掛けした花瓶を記念に頂きました。近藤先生から「やきもの」の説明・作品の紹介を聞いてい



本部管理中隊 1等陸曹 渡辺 衛 師匠と作品を見入る(写真右)

衛隊の日の出窯は坂田和幸先生がその後を引き継がれ現在は、三代目日の出窯元北野一年先生です。私は先生の指導の元で特訓を受け、今日の基礎を作る事が出来ました。

土を練り、形を考え、焼き上がり想像しながら土と釉薬と炎の力を借りてつぎの事のない陶芸の楽しさを味わう、陶芸は、土と炎のドラマでもあります。また炎が生んでくれる芸術品でもあります。創作の喜びは人生に潤いを与え人と人とのふれ合いに心の温もりを伝わらせ豊かな安らぎをもたらしてくれそうです。

今回の受賞を機会に益々修業を重ね、道美展に恥じない作品の製作に努力をしたいと考えております。

最後に、御指導、御鞭撻下された先輩の方々に深くお礼を申し上げ、受賞の喜びを心よりかみしめ味わいたいと思っております。

最初の頃は、なかなか餌を受け付けなかったが神田三尉が中心になって看護した。昼間は業務室のみんなが、かわるがわる駐屯地内で捕まえたバツタやコウロギ食べさせて世話をし、夜は、神田三尉が自宅に連れて帰り、世話をした。

約一週間で元氣を取り戻したツツドリは、みんなが捕まえて来た餌を自分で食べるまでになり、窓ガラス越しに外向かかって羽はたき出した。

十月九日朝、ツツドリは体調が完全に快復したとものと判断。会員が見守る中、放したところ、別れを惜しむかのように、近くの木にとまり、辺りを見回していたが、しばらくして大空に向かって元氣に飛び立った。

おめでとう  
新婚さん



- 本部管理中隊 三曹 高藤 護妻美 貴 8・6  
駐屯地業務隊 事務官 堀江 学妻 8・14  
第三三五施設中隊 三曹 山上竜一 妻 美保子 9・30
- 第三三五施設中隊 三曹 伊藤重雄 妻 珠美 10・7  
第三三七施設中隊 士長 永富雅美 妻 恭子 10・10  
第三三五施設中隊 三曹 藤村忠明 妻 由紀子 11・1

こんにちは  
赤ちゃん



- 群本部三科 一尉 相笠 康雄 次女 えみり 9・13  
群本部三科 一尉 佐々木洋一 長女 遥香 10・9
- 本部管理中隊 二曹 今野勝美 長女 かおり 10・20

ツツドリ元氣に飛び立つ

十月一日、駐屯地西側の路上で羽を痛めて飛べなくなっていた野鳥を隊員が保護し、手厚い看護を受け元氣を快復中と岩見沢新聞に掲載され話題となりました。

この野鳥を保護したのは、厚生科の一行が六条通りを車で通行中、武部建設前の路上にうずくまっていた鳥を発見し、車を降りて近付いてみると逃げた元氣もない様子であった。放置すれば犬・猫に食べられてしまうと思ひ帽子を使って捕獲し駐屯地に持ち帰り駐屯地野鳥クラブ会長が保護することになった。

野鳥は外傷はないものの羽を強く動かさない様子、また餌も食べていないようで元氣がなかった。

会長の神田三尉は、鳥類図鑑を調べ、野鳥の専門家に確認したところ羽の形、模様クチベン等からホトトギス科の



ツツドリを看護する野鳥の会会長 神田三尉

宝石 創業83年 貴金属  
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店

**(株)太田時計眼鏡店**

岩見沢市1条西4丁目  
TEL 0126-23353 23354

安心しっかり  
愛車もしかり

車検費用積立プラン

**富士火災**

担当 松浦直樹  
岩見沢支社 Tel 23-5142

安心とゆとりのプラン

協栄生命 **LL・ワイド** 15 50 100  
更新型

担当: 田村純子・江藤早苗

余裕資金を上手に活かして大型保障  
協栄の保険料頭金制度をご利用ください  
定期特約付終身保険

**協栄生命保険株式会社**

サンブラザ ウエディングプラン

**エメラルド**

挙式から披露宴までのすべてをセットしてこの価格!  
ご両家ご負担 **25万円**

**ホテルサンブラザ**  
岩見沢市4条東1丁目 ☎ 23-7788

— コニカカラー百年プリント —

カラープリント45分仕上げの店

**カメラの田沢**  
ビデオ

〈各種クレジットカードOK〉  
岩見沢市1条西4丁目 ☎ 22-4848

.....だから  
二人の時間を刻みたい  
よろしければ.....

**Iwamizawa Heiankaku**

Phone. 0126-23-4581 FreeDial. 0120-201143